



高齢者・障害者のための

お役立ち手作り 自助具

自助具とは、運動機能などに障害のある人のために、自力で日常生活動作を行えるように工夫して作られた器具・道具をいいます。

提供 / 社会福祉法人 北九州市福祉事業団 福祉用具プラザ北九州
〒802-8560 福岡県北九州市小倉北区馬借 1丁目7-1 総合保険福祉センター1階
TEL. (093) 522-8721 FAX. (093) 522-8771

フードガードを作ろう



片麻痺の方、高齢者の方、両手に麻痺のある方などで、スプーンを使って食事をされる方。スプーンを使ってお皿から食べ物をすくうとき、食べ物が滑って皿から落ちる場合に役立ちます。普通の食器に取りつけて使用できます。

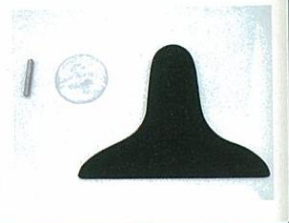
使い方

- 平らなお皿に吸盤を取り付けて使います。
- 食べ物をスプーンですくうとき、フードガードを壁として食べ物を押し付けるようにしてすくいます。
- アクリル製なので、洗って何度でも使用できます。



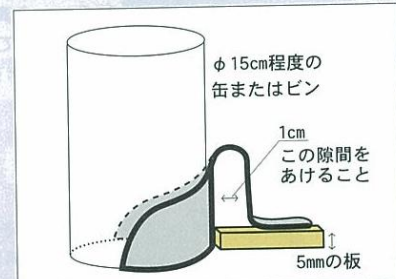
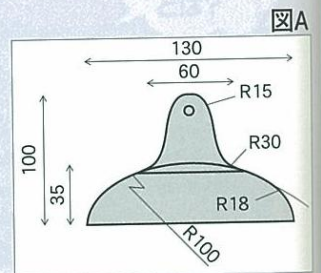
材料

- アクリル板(厚3mm) 12×15cm 1枚
- 吸盤(横穴タイプ) 1個
- 丸棒(太い針金など) 太さ5mm×2cm 1本



作り方

- ① 図Aの寸法で型紙を作り、アクリル板にペンで写します。
- ② アクリル板を電動糸鋸でカットします。
- ③ アクリル板の切り口を紙やすりと耐水性紙やすりで滑らかに整えます。
- ④ 吸盤取り付け用の穴(径9~10mm)をあけます。
- ⑤ 一度クシャクシャにして広げたアルミホイルの上にカットしたアクリル板をのせ、オーブントースターで約2分加熱します。
(加熱したアクリル板は熱いので軍手をはめて扱ってください)
- ⑥ やわらかくなったら図Bのように空き缶やビンなどを使って形作ります。固まってきたら水を入れた洗面器の中に入れて冷やします。



- ⑦ 冷めたアクリル板をよく拭き、吸盤を取り付けて完成です。

※このコーナーの自助具は全国の先輩方のアイデアを福祉用具プラザ北九州で作製・改良したものを掲載しています。